

子どもの「いのち」を守る強化月間・構想

子どもの「いのち」を守る力			
児童・生徒	学 校	家 庭	地域社会
負(-)要因：排除・消失・減少 正(+)要因：育成・獲得・増強 ・自己理解・自尊感情・自己有用感 ・社会力・人間力・社会性・自己管理能力・自己防衛力・危険回避力 ・コミュニケーション力・倫理観 ・情報収集力・道徳心・規範意識・常識力・協力協調力・課題解決力 ・耐性力・自己教育力・向上心・計画実行力・親子愛・家族愛・兄弟姉妹愛・友情・自己実現	校長・教職員の子どもを守る力 学校経営力 危機管理能力 学校安全点検力 生徒観察対応力 学習指導力 生徒指導力 相談サポート体制 初動体制 緊急連絡体制 マスコミ対応力	保護者・家族の子どもを守る力 子ども理解 家庭団欒 家庭教育力 保護者教育力 家族対応力 学校理解・協力 教職員と連携 学校情報提供 地域参加・理解 地域危険情報収集	地域教育力・関係機関の子どもを守る力 地域健全育成対応力 外部不審者侵入防衛力 不審者情報収集力 安全点検・巡回指導 危険箇所情報収集 子ども守る組織体制 社会参加・地域参加体制 学校・地域の協働体制 関係機関連携協力体制

<標語> 子どもの「いのち」を守るために、学校・家庭・地域でコミュニケーションの輪を広げよう

子どもの「いのち」を守る強化月間

『点検表』のチェック		『スローガン』活用		『学校安全強化旬間』の設定
学校では、校長が中心となり、学校経営・児童生徒の安全・危機管理の点検を実施する。校長は、既存の学校安全マニュアル等の設定項目を参考としながら、別紙点検表により、学校の実情に合わせた点検項目の設定及び再点検を早急に行い、その結果に基づいて校内及び学校評議員、PTA 等関係者による話し合いを行う。		校長の判断でスローガンの作成や配布等に取り組む。職員会議や全校集会で教職員や生徒に配布、呼びかけをして、「いのち」を守る機運を高める。保護者には家庭用スローガンを配布し、啓発する。		校内不審者侵入による「池田小学校事件」を風化させないように、10日間の旬間を設定する。不審者による事件・事故の未然防止に焦点化し、学校への侵入や登下校中の声掛けなどから児童生徒を守る安全確保の取り組みを家庭・地域等の関係機関の協力のもとに実施する。
児童・生徒	教職員	学 校	家 庭	学校・家庭・地域・関係機関
児童生徒の「いのち」を守る点検 ・学校内体制 ・子ども理解 ・事故・事件が起きた際の対応マニュアル ・不審者の侵入防止	教職員の「健康」を守る点検 ・教職員指導体制サポート体制確認 ・教職員の指導力確認 ・意欲/活力/倫理観の確認 ・ゆとり創造運動	学校でのスローガン作成と周知・活用	家庭への例示スローガンの配布と家庭での「話し合い」	・学校安全マニュアルの確認、見直し ・教職員の安全対応能力向上の取り組み ・児童生徒の安全対応能力の向上 ・安全点検の実施 ・登下校における街頭指導 ・校内外の巡視 ・児童・生徒による取り組み（例ポスター・標語などの作成） ・保護者への呼びかけ（地域の見守り・緊急時の対応など） ・警察・防犯協会への協力依頼など。